

# ブロック塀等の改善・台風被害住宅の修繕は前進できる

2020年度の流山市一般会計予算は、「過去最大」だった今年度より約97億7千万円増加し、698億3千万円（他会計を含めた全会計では1149億5千万円弱）になりました。

予算特別委員会の審査を通じ、市

## 危ないブロック塀等の改善 進捗率はたった2%

2018年6月に発生した大阪北部地震。学校の違法なブロック塀によって尊い女児の命が失われたことを契機に、全国や流山市でブロック塀等の緊急改修がスタートしました。

市内では、小学校通学路に限った場合、「安全であることが確認はない」ブロック塀等が1万5041基ある一方、改善の進捗はたった233基、2%（20年1月末現在）だけです。

進まない理由を、「費用負担」や「持ち主の高齢化」と担当課は予算特別委員会で答弁。小田桐たかし市議は、ブロック塀等の「除去」事業予算が4百万円（うち、国県負担280万円、市負担120万円。前年度比2百万円の減額）という低い位置づけを改めるとともに、昨年台風被害で傷んだ住宅の緊急修繕、戸建住宅耐震化を進

議会各会派が共通して提出した『要望事項（議会共通事項・14項目）』を中心に、どんな質疑が行われ、何を優先し、いくら事業費を投入されているのか、それが市民の願いに沿った内容なのか…みなさんと一緒に考えます。

北部中学校ブロック塀の緊急改修工事



めるため、国の制度（国50%、県25%・市25%負担）に加え、市内事業者へ発注した場合、市独自に10万円を補てんする3年間の時限的措置を提案。また「①「母になるなら、流山市。」など『首都圏広告』など不要不急の事業を凍結すれば財源確保ができること、②『安全』『経済振興』『地域コミュニティの醸成』を一体で図れる政策だ」と市長にも迫りました。

予算特別委員会の協議会結果から「ブロック塀等の除去補助金については、様々な課題についての検証を行い、補助金の増額等、さらなる除去・改善の促進を図りたい」と『要望事項（議会共通事項）』の一項目に加えられました。「除去」にとどまらず、「改善」が加わったことは非常に重要です。ご一緒に、運動を広げましょう。

東深井小学校ブロック塀の緊急改修工事





# コロナ対策 観光案内版「設置」凍結し、学童保育へ人員増員を！



日本共産党 流山市議会議員

小田桐たかし

今年度設置されたおおたかの森地区の案内板



政府の「学校いつせい休校」を受けて、流山市でも3月3日から休校に。学童保育では、「急な準備に追われ、大変」「人手不足から、『倒れる場合は、順番に倒れよう』等の会話になっている」との声が聞かれています。

予算特別委員会で小田桐たかし市議は、「観光案内版の設置は2・3年遅れても問題はない」とし、「設置工事費1752万円（国費612万円、借金820万円、市費320万円）のうち市費分だけで、月15万円の学童保育支援員を21人増員し、現場へ派遣できず。どちらが優先か」と市長を迫りました。

市長は「優先順位をつけて対応」と答弁。現場の実態に目をそらす姿勢に他会派からもため息がもれました。



歩行者一人でギリギリの歩道

交通量が多い守谷県道：「西初石3丁目の歩道の中に電柱：ベビーカーや車いすでは歩道の幅が足りず、通れないため、車道を迂回しなければならぬ」「歩行者も通りづらい」：何年にもわたり、要望が寄せられ、過去、公明党や国民民主党が議会で取り上げてきました。小田桐たかし市議も、その他、守谷県道の安全対策を議会で取り上げてきました。

この度、地権者交渉がまとまり、移設する方向へ。当局は、「配線工事も複雑で、移設には約3カ月程度かかる」としています。

守谷県道  
踏切そばの歩道

狭くて通りづらかった歩道…解消へ